

【 6 款 農林水産業費 】

1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜、露地野菜、平戸牛等の銘柄の確立を図るとともに、集落営農組織の推進や経営の合理化を積極的に推進した。

(1) 農業委員会

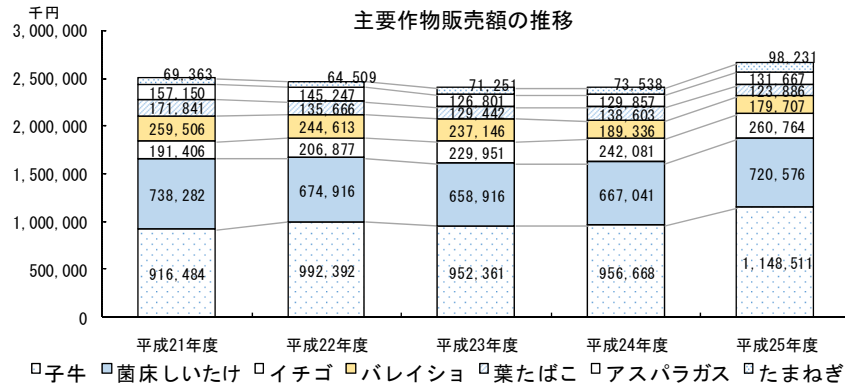
農業・農村を取り巻く環境は、輸入産物の増大による国際化の進展、農業の担い手不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を抱え、厳しい状況に直面している。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と、農業後継者結婚対策に取り組んだ。

(2) 農業の振興対策

農業・農村の振興を図るため、園芸及び肉用牛振興を中心として、意欲ある生産者に対して、基盤整備や農地集積などの支援を行うとともに、担い手対策として新規就農者の確保や認定農業者の労力支援を目的とした農援隊の設置など、各種事業を積極的に推進した。

また、6次産業化を推進するため、農産物の加工品開発に取り組む直売所、生産者等を対象とした研修会を開催し、地域の特産品を使った商品開発に取り組んだ。

本市の農地の大部分を占める水田については、国の経営所得安定対策事業を活用し、米の計画的生産と併せて、水田の有効活用を促進するため、飼料作物や振興品目の増産に取り組んだ。



(単位:千円)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
子牛	916,484	992,392	952,361	956,668	1,148,511
菌床しいたけ	738,282	674,916	658,916	667,041	720,576
イチゴ	191,406	206,877	229,951	242,081	260,764
パレイショ	259,506	244,613	237,146	189,336	179,707
葉たばこ	171,841	135,666	129,442	138,603	123,886
アスパラガス	157,150	145,247	126,801	129,857	131,667
たまねぎ	69,363	64,509	71,251	73,538	98,231
合計	2,504,032	2,464,220	2,405,868	2,397,124	2,663,342

(3) 農業生産基盤の整備

園芸作物の産地力が高めるため、生産者団体や農協に対して、種苗費や施設整備、機械導入に対する助成を行い、園芸作物の規模拡大と品質向上に取り組んだ。

優良農地の確保と意欲ある農家の規模拡大を支援するため、国・県の補助事業を活用し、耕作放棄地の解消を行った。

中山間地域等直接支払制度及び農地・水保全管理支払交付金制度については、集落の共同活動に対する支援を行い、農道、水路の維持管理、耕作放棄地の防止、景観作物の作付けなど、農地等の機能維持及び適正管理につなげた。

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。

(4) 農業施設の防災対策

農地や農業用施設に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持と農業経営の安定を図るとともに、国土保全や農村の安全性を確保するため、県営及び団体営事業により、計画的にため池や用排水路等の整備を行った。

(5) 畜産業の振興対策及び生産基盤の整備

本市の基幹作物である肉用牛（繁殖雌牛）の推移については、担い手不足や高齢化等により少頭数飼い農家の廃業が進み、それに伴い、飼養頭数及び飼養戸数ともに減少傾向にある。

そうしたことから、産地確立の中核となる繁殖農家の優良繁殖雌牛の導入に対する補助を行うとともに、肥育牛舎の整備に対する支援を行い、供給体制の強化を図った。また、放牧地整備による繁殖農家の低コスト化に対する支援を行った。

さらに、平成29年度に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城県大会に向けた推進組織を設立し、生産者及び農協、行政機関など地域一体となった取り組みを推進した。

繁殖雌牛の飼養頭数及び飼養戸数の推移

(単位:頭、戸)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
飼養頭数	3,447	3,280	3,202	3,125	3,012
飼養戸数	560	518	489	455	422
1戸あたり	6.2	6.3	6.5	6.9	7.1

(6) 担い手育成・確保対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者等の担い手育成を図るため、各種研修会の開催など、関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

また、平戸市農業総合支援センター（もうかる農業支援隊）による相談窓口を設置し、就業希望者や規模拡大に取り組む農業者等に対して、農協や県等の関係団体と連携した支援を行った。

新規就農者に対しては、人・農地プランにおいて中心的な経営体となることが見込まれることから、国・県の補助事業を活用しながら、経営安定につながる支援に取り組んだ。

(単位:人)

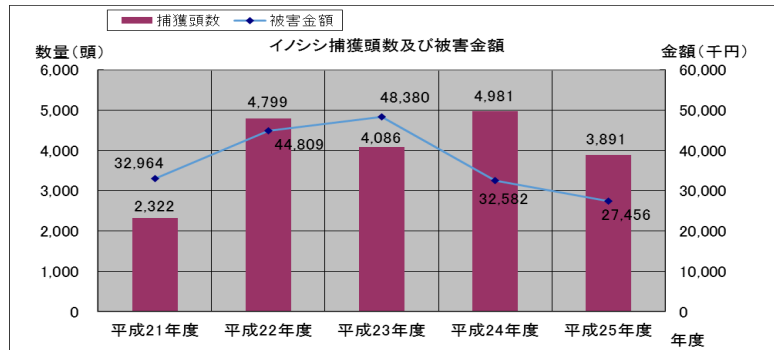
区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
認定農業者数	185	181	178	175	177

【 6 款 農林水産業費 】

(7) 有害鳥獣対策

農作物等をイノシシ等から守る「防護対策」と、イノシシ等の被害を減らすための「捕獲対策」及びイノシシ等が嫌がる環境をつくる「棲み分け対策」の3つの観点に基づき、地元猟友会と連携しながら事業を展開した。特に、防護対策として、国庫補助事業を活用し、防護柵（ワイヤーメッシュ柵・電気柵）の整備を行った。

また、まちなか被害対策として、イノシシ大学の開催や、被害防止対策重点地区モデル事業を実施して、イノシシ被害防止に対する市民の意識高揚を図った。



2 林業費

(1) 林業振興対策

近年における木材価格の低迷や生産コストの増大等、林業を取り巻く情勢は厳しさを増し、さらに林業従事者の高齢化や後継者不足、不在林家の増加等により、今後森林が荒廃することが危惧されている。

このようなことから、本市においては、平成25～34年度までの10カ年を計画期間として、平戸市森林整備計画を策定し、森林の有する「水源かん養機能」、「保健・レクリエーション機能」、「里山・沿岸保全機能」、「木材等生産機能」等の公益的及び多面的機能を維持・向上させるため、国・県の補助事業を活用し、関係する林業団体と連携しながら、各種事業の取り組みを行った。

3 水産業費

魚価の低迷や漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化を目指し、「流通・販売体制の改善と水産加工業の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民との交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行っている。

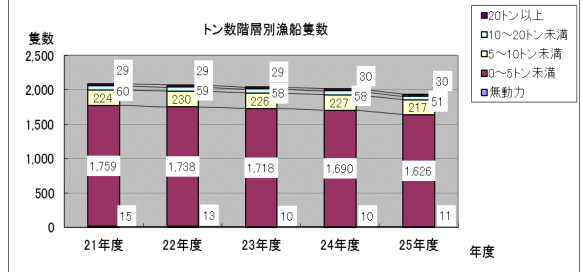
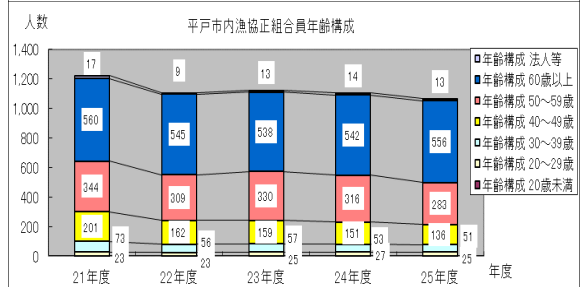
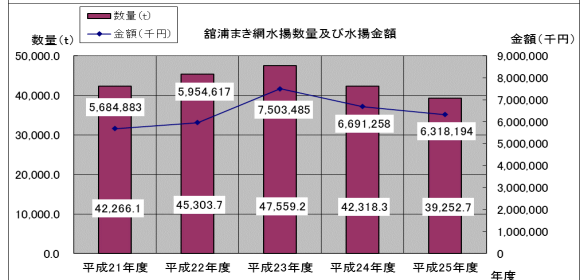
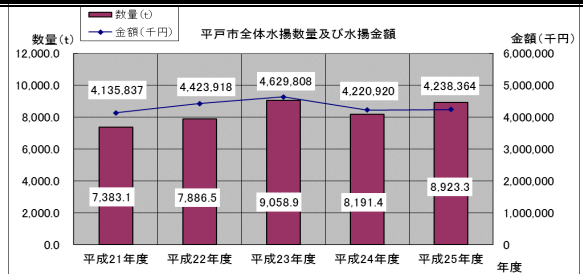
また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、生産拠点漁港の充実、防災及び老朽化対策、漁業集落の環境整備に向けた取り組みを行った。

(1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「水産多面的機能発揮対策事業」に取り組むとともに、「水産業普及指導事業」では資源管理型漁業推進の一環として『放流用アワビの中間育成試験』を行い、水産資源の維持・安定を図っている。

離島地区においては、「離島漁業再生支援交付金事業」や「離島輸送コスト支援事業」に取り組み、漁業者自ら地域の実情に応じた沿岸漁業の振興に努めている。

さらに、地域資源を活かした水産加工の普及や販売促進による漁業者の収益安定を図るとともに、「漁業担い手確保推進事業」によって新規就業者の確保に努めている。



(2) 漁港整備

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港については、これまで長期計画に基づき整備を行った結果、一定の機能は整ってきたと認識している。しかしながら、荒天時の波浪により漁船の安全な出入港や係留が確保できていない箇所については、計画的に機能強化を行っている。併せて、既存施設の長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」に取り組み、工事を行うための前提となる調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の改修を行っている。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細書 198 頁】 【事項別明細書 200 頁】	農地の利用関係調整(権利移動の許可取得等による農地の斡旋等)や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	5,820
中山間地域等直接支払交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 202 頁】 【事項別明細書 204 頁】	中山間地域における耕作放棄地化の防止と多面的機能維持の観点から、活動を行う協定締結集落へ交付金を交付した。  推進事務費等 1,432 千円 交付金 189,889 千円 協定締結数 106 協定(集落 105 個人 1) 交付面積 1,024.2ha 負担割合 国:50%、県:25%、市:25%	191,321
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、水路の改修 事業量 0.3ha (津吉地区) 事業費 2,342 千円(補助対象事業費) 負担割合 国(※):50%、県:30%、市:15%、受益者:5% ※国費は、直接交付。	1,055
農援隊設置事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 労力が不足している認定農業者に対して、農援隊を派遣し、労力支援を行うとともに、農業分野における雇用対策を行った。 委託先 ながさき西海農業協同組合 事業量 農援隊(11名)の派遣 事業費 13,415 千円	13,415
構造改善加速化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	平戸市加工たまねぎ機械利用組合の省力化機械導入への補助を行った。 事業量 たまねぎ省力化機械(共同利用) 移植機 3台 収穫機 5台 ピッカー(収集選別機) 5台 事業費 20,848 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:1/3、市:県補助残の28%	10,840
ながさき農山村活性化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	津吉地域活性化協議会(各種 15 団体の代表者など 19 名で構成)が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 環境保全活動(耕作放棄地解消)、産業振興活動(先進地視察、加工新商品開発、イベント開催) 事業費 500 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:100%	500

(単位:千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,590		12	218	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。
143,820		24	47,477	農地・農道・水路などの保全及び水源のかん養機能や景観形成等の多面的機能が増進されるとともに、耕作放棄地化の防止に寄与した。 協定締結数 24年度 103 協定(集落 102、個人 1) 25年度 106 協定(集落 105 個人 1)  交付対象面積 24年度 1,021.63ha 25年度 1,024.2ha
702			353	当該箇所における農地の区画整理及び水路の改修により、0.3ha の耕作放棄地を解消するとともに、担い手の営農活動を推進することができた。
13,415				認定農業者の労力不足が一定程度解消し、生産現場の労働環境改善につながった。また、11名の雇用創出ができた。  新規雇用者数 11名
6,949			3,891	加工用たまねぎにかかる効率化・省力化機械の導入により、作付面積の拡大に寄与した。 加工用たまねぎは、青果と比べて販売単価は安いものの、労力軽減につながり、時給換算では上回る。  平成 24 年産 3.8ha 平成 25 年産 12.0ha
500				津吉地域の農業者や活性化団体の連携によって、放牧による耕作放棄地解消や菜の花による環境整備、また、農産物を活用した新商品開発や先進地視察、菜の花まつり(集客イベント)を開催するなど、特産品の PR や集客対策にも取り組み、津吉地域の活性化に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
輝くながさき園芸産地振興計画推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書204頁】	ながさき西海農業協同組合のアスパラガス部会及び菊部会が、産地の拡大及び生産性向上を図るための生産資材導入に対し、補助を行った。 事業内容等 ・アスパラガス 昇温抑制資材(遮光ネット) A=166.8a(うち平戸市80.9a) 補助対象事業費 2,037千円(うち平戸市982千円) 受益戸数 17戸(うち平戸市11戸) ・アスパラガス 新改植 A=47.3a(うち平戸市21a) 補助対象事業費 1,146千円 受益戸数 4戸(うち平戸市2戸) ・菊 省電力電球 1,152個 補助対象事業費 786千円(うち平戸市197千円) 受益戸数 4戸(うち平戸市1戸) 負担割合 県：1/3及び1/2、市：県補助残の28%以内	1,192
園芸産地育成対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書204頁】	園芸作物の栽培に取り組んでいる農業者等の規模拡大及び販売体制の強化及び、新たな品目の栽培に取り組む農業者に対する支援を行った。 園芸産地育成支援 3,994千円(6件) 販売ルート開拓 805千円(3件) その他園芸産地振興支援 200千円(1件) 合計 4,999千円(10件)	4,999
経営所得安定対策直接支払推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書204頁】 【事項別明細書206頁】	経営所得安定対策等の普及・推進活動経費として、平戸市地域農業再生協議会へ補助を行った。 事業内容 加入申請書等の配布及び回収並びに制度への申請手続支援、対象作物の作付状況の確認に要する経費 事業費 7,310千円 負担割合 国100%(定額)	7,310
離島輸送コスト支援事業(農産物) (農林水産課) 【事項別明細書206頁】	本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に農産物の海上輸送費の一部を助成した。 事業期間：平成25年6月1日～平成26年3月31日 ながさき西海農業協同組合 大島支店(米及びいも類) 輸送費 521,640円×(国1/3+市1/3)≒344千円 ながさき西海農業協同組合 度島事業所(米及び野菜類) 輸送費 91,101円×(国1/3+市1/3)≒54千円	398

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
859			333	アスパラガス昇温抑制資材を導入したことにより、夏場の高温による葉焼けや株の消耗等を抑制し、アスパラガスの収量確保につながった。 また、新植による栽培面積の拡大と改植(株の更新)による増収対策により、産地の拡大等ができた。 菊の電照に省電力電球を導入することによって、生産コストの引き下げにつながった。
			4,999	園芸品目の栽培に取り組む農業者等に対する支援を行い、園芸品目の産地強化ができた。
7,310				水稲を中心とした水田活用と、水稲以外の地域振興作物等の野菜類や飼料作物の作付を推進することによって、水田の利用率向上と農業所得の安定につながった。
199	199			地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することで、離島という地理的条件の不利を軽減することができた。また、生産意欲の向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
加工業務用産地育成整備推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書206頁】	水田裏作による加工業務用野菜の導入を図るため、排水不良水田の暗渠排水工事に対し、補助を行った。 また、ながさき西海農業協同組合が加工用たまねぎの集出荷体制を確立するための機械導入に対する補助を行った。 暗渠排水整備支援 中央土地改良区 受益戸数 21戸 A=4.7ha ながさき西海農業協同組合 受益戸数 12戸 A=1.9ha 事業費 17,071,598円(補助対象事業費) 集出荷貯蔵体制確立支援 ながさき西海農業協同組合 事業量 鉄コンテナ 30基 回転式フォークリフト 1機 デジタル台秤 1台 事業費 4,460,000円(補助対象事業費) 負担割合 県：3/20及び1/2、市：0%及び県補助残の28%以内	5,414
農地・水保全管理支払交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書206頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業費内訳 交付金 7,732千円、推進事務費 430千円 【共同活動】 事業費 交付金 3,151千円(市負担分) 交付団体 12団体(平戸8、生月1、田平3) 交付面積 田358.15ha、畑34.34ha、草地21.77ha 計414.26ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25% 【向上活動】 事業費 交付金 4,581千円(県・市負担分) 交付団体 7団体(平戸7) 交付面積 田203.68ha、畑10.01ha 計213.69ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	8,162
有害鳥獣被害防止対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書206頁】	イノシシ等有害鳥獣による被害を防止するため、鳥獣被害防止実施隊員への報酬、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金の支給や捕獲用箱罠の整備を行った。 鳥獣被害防止実施隊員報酬 1,915千円 捕獲報償金(3,891頭) 22,053千円 捕獲罠(箱罠30基) 1,638千円 事務費等 1,808千円	27,414

財源内訳				事業の成果																														
国県支出金	地方債	その他	一般財源																															
4,790			624	暗渠排水の整備により、水田の排水が改善され、水田裏作としてのたまねぎ等の作付が可能となり、水田の利用向上につながった。 また、加工業務用たまねぎの集出荷に必要な機械機器等の導入により、効率的な集出荷体制が確立された。																														
2,721			5,441	農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動等が円滑に実施され、また、農業施設の維持管理や機能向上活動が行われたことにより、環境保全及び農業施設の長寿命化につながった。 また、地域住民が活動に参加することによって、集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農村の機能維持につながった。																														
10,383			17,031	地元猟友会による、イノシシ等有害鳥獣の捕獲体制が強化され、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数(イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>4,799</td> <td>4,086</td> <td>4,981</td> <td>3,891</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>207%</td> <td>85%</td> <td>122%</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table> ○被害金額(イノシシ) (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害金額</td> <td>44,809</td> <td>48,380</td> <td>32,582</td> <td>27,456</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>136%</td> <td>108%</td> <td>67%</td> <td>84%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	H25	捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	3,891	前年度比	207%	85%	122%	78%	年度	H22	H23	H24	H25	被害金額	44,809	48,380	32,582	27,456	前年度比	136%	108%	67%	84%
年度	H22	H23	H24	H25																														
捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	3,891																														
前年度比	207%	85%	122%	78%																														
年度	H22	H23	H24	H25																														
被害金額	44,809	48,380	32,582	27,456																														
前年度比	136%	108%	67%	84%																														

事業名	事業内容	事業費
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】 【事項別明細書 208 頁】	イノシシ等有害鳥獣による被害を防止するため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵整備に対する補助を行った。  防護柵整備 (ワイヤーメッシュ柵) 116,565千円 防護柵整備 (電気柵) 5,923千円 県北地域有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 25千円	122,513
イノシシ被害まちなか対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	市街地でのイノシシ被害を防止するために、イノシシ大学や出前講座を開催した。 また、地域住民自らがイノシシ被害対策として、防護柵整備や草刈による緩衝帯整備等に取り組む、被害防止対策重点地区モデル事業を実施した。  イノシシ大学等の開催 111千円 実施回数 1回、参加人数 83名  被害防止対策重点地区モデル事業補助金 400千円 実施地区 2地区 勉強会の開催、被害箇所マップ作り、被害箇所見回り 緩衝帯整備、防護柵設置等	511
新規就農総合支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	新規就農者の技術習得及び就農後の経営安定を支援するため、給付金を交付し、就農定着化を支援した。  事業量 青年新規就農者 4名に対する給付 事業費 6,000千円 (1,500千円×4名)	6,000
農産物加工新商品開発支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、研修会やアドバイスを開催し、農産物の加工新商品の開発支援を行った。  事業量 研修会の開催 (4回) ・ドレッシング実習について ・ホットパック実習について ・流通・販売力強化について ・6次産業化のまとめについて 委託先 株式会社 キースタッフ 事業期間 平成 24～25 年度	1,108

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
122,488			25	イノシシ等有害鳥獣の農地侵入を防止することにより、農作物の被害を抑えることができた。  ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WM柵</td> <td>46,080</td> <td>148,880</td> <td>202,220</td> <td>186,466</td> </tr> <tr> <td>電気柵</td> <td>19,140</td> <td>48,241</td> <td>69,580</td> <td>33,300</td> </tr> </tbody> </table> ※WM柵=ワイヤーメッシュ柵	年度	H22	H23	H24	H25	WM柵	46,080	148,880	202,220	186,466	電気柵	19,140	48,241	69,580	33,300
年度	H22	H23	H24	H25															
WM柵	46,080	148,880	202,220	186,466															
電気柵	19,140	48,241	69,580	33,300															
			511	地域住民がイノシシ被害防止に対して問題意識を持ち、イノシシの生態や被害対策等について学習する機会を提供することにより、地域住民の被害防止に対する意識高揚に寄与した。 また、捕獲隊の設置には至らなかったものの、被害状況のマップ作りや防護柵の設置、草刈による緩衝帯整備等を地域住民自らが実施する被害防止対策重点地区モデル事業に 2 地区が取り組むことができ、市街地でのイノシシ被害対策のモデル地区となった。															
6,000				就農意欲の喚起と就農後の定着を支援することで、新規就農者の課題のひとつである所得の確保等が一定程度解消することができた。 また、受給者 4 名については、園芸作物や肉用牛の振興に積極的に取り組んでおり、地域農業の振興に重要な担い手育成につながった。															
			1,108	6次産業化に取り組もうとする農業者等が抱える問題点を明らかにし、課題 (市内農産物の有効活用、新規事業の創出、ブランド化、販売促進及び地域活性化など) 解決に向けて、付加価値の高い農産物の加工による新商品の開発目処が立ち、農業所得の向上が期待できる。															

事業名	事業内容	事業費
家畜導入事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農業協同組合が飼養農家に貸し付ける繁殖雌牛の導入に対する補助を行った。  ひらどモーモー増頭支援事業補助金 県(一般導入) : 92千円×46頭 = 4,232千円 県(優良雌牛導入) : 200千円×11頭 = 2,130千円 市 : 46千円×46頭 = 2,116千円	8,478
平戸牛の里づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	第11回全国和牛能力共進会宮城県大会に向け、生産者及び農協、関係機関が一体となった取り組みを進めるため、「第11回全国和牛能力共進会宮城県大会平戸市対策推進協議会」に対する運営費補助及び候補牛の確保に対する支援を行った。  第11回全国和牛能力共進会宮城県大会 平戸市対策推進協議会補助金 100千円 平茂晴産子導入事業補助金 23頭×150千円 優良繁殖雌牛群造成事業補助金 27頭×150千円 指定交配推進事業補助金 71頭×3千円	7,813
肉用牛経営活カアップ事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	繁殖及び肥育牛の多頭飼育経営に取り組む生産組合に対して、肥育牛舎及び堆肥舎などの整備に支援を行った。  事業量 肥育牛舎 1棟 883㎡、堆肥舎 1棟 93㎡など 事業主体 平戸地域肉用牛生産組合 受益戸数 2戸 負担割合 県 1/2 以内 市：県補助残の32%以内	23,485
放牧推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	放牧事業に取り組む組織に対して、種子・肥料の導入及び柵設置など放牧地の整備に対する支援を行った。  強い農業づくり交付金事業(国事業) 事業主体 奥平戸放牧組合(津吉地区) 受益戸数5戸 事業量 放牧地整備一式 305a 負担割合 国：定額 70,000円/10a 以内  放牧定着化総合対策事業(県事業) ・放牧定着化支援事業 事業主体 西宇戸放牧組合(大島地区) 受益戸数3戸 事業量 247a 事業主体 石原放牧部会(生月地区) 受益戸数3戸 事業量 372a 負担割合 県：1/2 以内(上限10,000円/10a)  ・チャレンジ放牧推進事業 事業主体 個人 受益戸数 1戸 事業量 21.5a 負担割合 県：1/2 以内(上限275,000円)	2,702

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,362			2,116	高齢化等による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの、ながさき西海農業協同組合を通じて優良繁殖雌牛の導入支援を行ったことで、経営規模を拡大する農家の取り組みによって飼養頭数の減少抑制及び産地づくりにつながった。
			7,813	第11回全国和牛能力共進会宮城県大会平戸市対策推進協議会の活動に対する支援を行うことで、生産者、和牛部会、農協等、地域が上位入賞へ向けて一体となった取り組みを進めることができた。 また、宮城全共に向け、平茂晴の産子及び次世代の優良繁殖雌牛の導入によって、優秀な子牛の生産が可能となり、候補牛の確保が期待できる。
17,791			5,694	新たに低コストによる肥育牛舎(102頭規模)が整備され、経営規模の拡大及び集団化による生産コストの低減により、経営安定と平戸牛の供給体制の強化に寄与した。
2,702				耕作放棄地等の有効利用により放牧利用面積を拡大し、共同放牧による労働時間や生産コストの削減、また牛舎の空スペースを活用した増頭が可能となり、肉用牛経営の安定に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
農村災害対策整備 事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書214頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査・計画書作成、測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成21～32年度〕 生月地区（幸四郎・榎田ため池：対策工事） 負担金 49,123,293円×16%≒7,860千円 生月地区（西海岸：落石防護工H=2箇所 法面防護工 H=2箇所） 負担金 239,865,150円×16%≒38,378千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：16% 大島地区（前田・沖山・藤畑・今久保・長田ため池：測量・設計） 負担金 32,066,000円×11%≒3,527千円 負担割合 国：60%、県：29%、市：10%、受益者：1%	49,765
【事項別明細書216頁】	【平成24年度繰越明許費】 生月地区（幸四郎ため池：対策工事） （落木場・山頭ため池：測量設計） 負担金 90,000,000円×16%≒14,385千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2%	14,385
海岸堤防等老朽化 対策事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書214頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための対策工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成23～25年度〕 神上地区（消波工） 負担金 54,999,000円×7%≒3,850千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	3,850
農村災害対策整備 事業 (建設課) 【事項別明細書214頁】	老朽化した農業用施設（用水路・排水路など）の改修のための測量・設計及び対策工事を実施した。 〔事業予定期間 平成21～27年度〕 生月第2地区 総事業費 35,000千円 うち年度内支出 9,400千円 落木場排水路（2工区）改修・志保良地区用水路整備工事 大島第2地区（測量一式） 総事業費 25,000千円 うち年度内支出 5,200千円 星山用水路、長田排水路、保辺谷排水路、前田排水路整備工事 負担割合 国：55%、県：15%（道路・防護柵10%） 受益者：生月：4% 大島：2%	14,600
【事項別明細書216頁】	【平成24年度繰越明許費】 生月第2地区 事業費 20,001千円 落木場地区排水路 L=79.6m ブロック積 A=359.1㎡ 石張工 A=185.5㎡ 落差工 3箇所 用地買収 A=518.38㎡	20,001

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	46,100	1,303	2,362	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来している状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給につながる。
	11,900	1,800	685	
			3,850	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、傾は機能が十分に発揮され、背後農地や家屋への被害防止につながる。
10,480	3,900		220	当該農業用施設は、老朽化等に伴い、施設本来の機能を発揮できておらず、降雨時に近隣農地等へ雨水が氾濫している状況である。事業完成後は、当該地域で発生する災害から、市民の生命・財産及び生活を守ることができるとともに、農業用施設等の機能の充実により、安定した営農に寄与する。
14,000	5,700	301		



事業名	事業内容	事業費
自然災害防止事業 県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する海岸堤防等海岸保全施設工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 25～26 年度〕 大山地区 (地すべり対策工事) 負担金 1,470,000 円×20%≒294 千円 負担割合 県：80%、市 20% 江川地区 (海岸保全対策工事) 負担金 7,425,000 円×25%≒1,811 千円 負担割合 県：75%、市：25%	2,105
地域ため池総合整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事及び排水路整備のための測量設計にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕 大島地区 (白岩排水路施設整備 1 箇所 L=619m) 負担金 15,386,528 円×9%≒1,385 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：9%	1,385
農道整備事業 (建設課) 【事項別明細書 216 頁】	〈地域の元気臨時交付金事業〉 災害防止対策事業を実施  農道生月西海岸安全施設工事 7,700 千円 事業内容 落石防止ネット工事 L=29m  鮎川地区排水路災害対策整備事業 2,794 千円 事業内容 U型側溝敷接工事 L=234m	10,494
農業施設整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 216 頁】	〈地域の元気臨時交付金事業〉 多目的研修センターグラウンドにおいて、真砂土による舗装工事を行った。  事業量 真砂土舗装工 A=7,038 m <sup>2</sup> 事業費 8,000 千円	8,000
市有林管理・緑化事業 (農林水産課) 【事項別明細書 220 頁】	造林事業を計画的に実施し、森林の整備を図った。  事業量 下刈 4.24ha (平戸地区 2.6ha、田平地区 1.64ha) など 事業費 1,532 千円	1,532

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			2,105	農地及び施設が高潮や浸食等による被害から守られるようになる。
	1,300		85	排水路を整備することにより、水災害の防止及び地域住民の安全性が確保されるとともに農業振興に寄与することができる。
10,100			394	降雨等による災害から、人命及び家屋や車両などの財産等について、未然に防止することができるようになった。
7,700			300	年数経過とグラウンドの勾配がないため、水はけが悪く、使用及び維持管理に支障をきたしていたが、真砂土による舗装を行ったことで、グラウンドの機能が改善され、利便性の向上につながった。
412			1,120	市有林の造林事業 (下刈) を行ったことにより、植栽木の健全な保育及び生産に向けた環境整備ができた。 また、森林の持つ公益的及び多面的機能が発揮され、水源かん養機能やCO <sub>2</sub> (二酸化炭素) 削減に寄与できた。

事業名	事業内容	事業費
林道環境整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	<p>&lt;緊急雇用創出事業臨時特例基金事業&gt; 市が管理する林道のうち車両通行の妨げとなっていた沿線の草木等について、機械使用による除草、陰切り作業及び側溝の土砂除去などを行った。</p> <p>委託先 平戸市森林組合 事業量 林道慈眼岳線 L=1,808m、林道宇戸線 L=3,825m 林道深川木場線 L=5,296m、林道中央縦貫線 L=9,421m 合計 L=20,350m 事業費 7,245 千円</p>	7,245
林道整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	<p>&lt;地域の元気臨時交付金事業&gt; 林道田代線において、擁壁、法面及び防護柵等の災害対策整備工事を行った。</p> <p>事業量 擁壁工 V=59.8 m<sup>3</sup>、法面工 A=391.6 m<sup>3</sup>、 防護柵工 L=24.0mほか 事業費 6,000 千円</p>	6,000
海岸防災林造成事業 県工事負担金 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	<p>県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 24～27 年度〕 根獅子地区 (防潮護岸工など) 負担金 79,999,500 円×7%≒5,600 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%</p>	5,600
環境林整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害から守るため、被害木の伐倒駆除を行った。</p> <p>事業量 (伐倒駆除) 197.71 m<sup>3</sup> 平戸地区 3.01 m<sup>3</sup> 生月地区 20.00 m<sup>3</sup> 大島地区 174.70 m<sup>3</sup></p>	3,555
ふるさとの森林づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>① 森林と農地のバッファゾーン造成事業 2,730 千円 イノシシの活動拠点となっている樹木等が生い茂り見通しの悪くなっている里山林について、ながさき森林環境税を活用し、樹木の伐採等を行った。</p> <p>事業箇所 大久保町田の浦地区 事業主体 平戸市森林組合 事業量 1.99ha 事業費 2,730 千円</p> <p>② 未利用材搬出支援事業 534 千円 製材用としての利用価値が低く採算性が合わないため、林内に放置されている間伐材について、木質バイオマスの原材料として利用するため、搬出に対する補助を行った。</p> <p>事業箇所 木場町、大川原町、敷佐町 事業主体 平戸市森林組合 事業量 356 m<sup>3</sup>×1,500 円/m<sup>3</sup> 事業費 534 千円</p>	3,264

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,245				<p>林道を利用する森林所有者及び森林整備車両等の安全運行と利用促進が図られた。</p> <p>また、2名の新規雇用者は刈払機講習会受講等により技術が向上した。</p> <p>○新規雇用者数 2名</p>
5,800			200	<p>一部土砂が崩壊し、落石が頻繁に起こるなど通行に支障をきたしていたが、この事業を行ったことで、法面からの落石及び崩落を防止することができ、林道通行の安全性を確保することができた。</p>
	5,300		300	<p>当該海岸保全施設は、経年劣化や波浪等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、消波機能が十分に発揮され、保全対象区域の民家、農地及び防災林などへの被害が軽減される。</p>
2,195			1,360	<p>防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全に寄与した。</p>
3,264				<p>①イノシシが農地等に近づきにくいバッファゾーンが造成され、農作物に対する被害の軽減が期待できる。</p> <p>②未利用材に対して新たな価値を与え、間伐材を余すことなく有効活用することにより、森林所有者の増収と森林の環境整備に寄与した。</p>

事業名	事業内容	事業費
自然災害防止事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。 後平地区(鏡川町) C=4,019 千円 神田地区(深川町) C=1,418 千円 轟地区(草積町) C=2,184 千円	7,621
森林病害虫獣対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守るため、防除を実施した。 地上散布 6.74ha(平戸地区 2.84ha、大島地区 3.90ha) 空中散布 84.0ha(大島 84.0ha) 樹幹注入 328本(平戸147本、生月181本)	5,717
森林整備地域活動 支援交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	小規模で分散している森林をとりまとめて、一体的に施業を行う集約化を進めるため、森林情報の収集活動、森林調査、合意形成活動などを実施する団体に対して支援を行った。 事業内容 施業集約化の促進活動 30ha 事業主体 県林業公社 負担割合 国:100%	450
漁場整備事業県工事負担金 (農林水産課) 【事項別明細書 226 頁】 【事項別明細書 228 頁】	県が実施する「水域環境保全創造事業(海藻バンク整備事業)」にかかる県工事負担金(A=0.8ha) 総事業費 63,000 千円 国費 31,500 千円 県費 28,350 千円 地元負担金 3,150 千円(5%)	3,150

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,809		1,906	1,906	林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。
4,294			1,423	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全に寄与した。
450				森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与できた。また、施業後は、適切な森林整備がなされ、森林の有する公益的及び多面的機能発揮が期待される。
	3,000		150	大島村漁協共同漁業権内(大島村の山地先)に磯焼け対策の一環として、核藻場を整備したことにより、継続した母藻の供給が期待される。

事業名	事業内容	事業費
離島漁業再生支援 交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強いられる離島地区の中で、漁業者自ら策定した活動計画(集落協定)に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。 対象地区 度 島 42 世帯 5,712 千円 高 島 4 世帯 544 千円 的 山 26 世帯 3,536 千円 大根坂 21 世帯 2,856 千円 推進事務費 300 千円 単独事務費 2 千円	12,950
水産環境整備事業 (建設課) 【事項別明細書 228 頁】	磯焼け対策として、的山大島地区の大根坂地先に藻場礁を整備するにあたり、調査測量設計を行った。 藻場礁整備 設置場所 的山大島地区(大根坂地先) ・事業費 5,544 千円 調査測量設計一式、資材単価特別調査 ・事務費 126 千円	5,670
豊かな海づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	市内の漁業者、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。 ①底質改良剤散布〔環境保全対策支援事業〕 370 千円 中野漁業協同組合 <220 千円> 平戸市漁業協同組合 <150 千円> ②磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：フルボ酸鉄〕 500 千円 生月漁業協同組合 ③製氷機にかかる純水器の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 平戸市漁業協同組合 555 千円 ④真空脱気包装機の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 473 千円 南新会	1,898
密漁取締連携推進 事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。 総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3; 直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2; 協議会自己負担金)	565

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
9,740			3,210	各漁業集落の地域特性を活かした「漁場生産力の向上に関する取り組み」及び「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、種苗放流、産卵場の整備、磯焼け対策、食害生物を利用した加工品の開発、簡易加工施設の整備、直売所の運営等を行うことができた。
4,620	1,000		50	調査設計を実施したことで、藻場を造成するための整備を行う環境が整った。
			1,898	①養殖漁場の環境改善を図り、底質改良剤の散布を実施したことにより、持続可能な養殖事業に寄与した。 ②磯焼けが進行している地先に、フルボ酸鉄ユニットを設置したことにより、フルボ酸鉄供給の有効性について継続した検証(経年変化)を行うことができるようになった。 ③純水器の導入を行うことにより、製氷工場における氷の原料水及び冷却機の冷却水の硬度を下げ、冷却機が目詰まりによる製氷機の停止障害を防ぎ、組合員に対する破氷の安定供給につながった。 ④水産加工に関して真空脱気包装機の導入を行うことにより、腐敗や酸化により劣化が進みやすい水産加工品の保存方法を改善することができた。
			565	市内の漁協管内で域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化につながった。

事業名	事業内容	事業費																								
農林漁業振興資金 利子補給事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	<p>漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、制度資金（漁業近代化資金等）を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。</p> <p>農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内）</p> <table border="1"> <tr> <td>期首融資残高</td> <td>140 件</td> <td>432,197 千円</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度新規貸付実行状況</td> <td>14 件</td> <td>70,490 千円</td> </tr> <tr> <td>利子補給額</td> <td>平戸市漁協</td> <td>1,065 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中野漁協</td> <td>67 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>志々伎漁協</td> <td>2,079 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>九十九島漁協</td> <td>20 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生月漁協</td> <td>75 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大島村漁協</td> <td>101 千円</td> </tr> </table>	期首融資残高	140 件	432,197 千円	平成 25 年度新規貸付実行状況	14 件	70,490 千円	利子補給額	平戸市漁協	1,065 千円		中野漁協	67 千円		志々伎漁協	2,079 千円		九十九島漁協	20 千円		生月漁協	75 千円		大島村漁協	101 千円	3,407
期首融資残高	140 件	432,197 千円																								
平成 25 年度新規貸付実行状況	14 件	70,490 千円																								
利子補給額	平戸市漁協	1,065 千円																								
	中野漁協	67 千円																								
	志々伎漁協	2,079 千円																								
	九十九島漁協	20 千円																								
	生月漁協	75 千円																								
	大島村漁協	101 千円																								
水産業普及指導事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】 【事項別明細書 230 頁】	<p>①資源管理型漁業の推進 3,760千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流対象種 オニオコゼ、ヒラメ、クロアワビ、アカウニ</li> <li>・放流箇所及び数量</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>平戸地先</td> <td>オニオコゼ (50mm)</td> <td>10,000尾</td> <td>&lt; 800千円&gt;</td> </tr> <tr> <td>志々伎地先</td> <td>ヒラメ (154mm)</td> <td>10,300尾</td> <td>&lt;1,190千円&gt;</td> </tr> <tr> <td>田平・志々伎地先</td> <td>クロアワビ (25mm)</td> <td>10,000個</td> <td>&lt;1,050千円&gt;</td> </tr> <tr> <td>平戸・津吉・中津良地先</td> <td>アカウニ (10mm)</td> <td>60,000個</td> <td>&lt; 720千円&gt;</td> </tr> </table> <p>②中間育成試験 567 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獅子・中津良地区（海面中間育成）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>クロアワビ (15mm)</td> <td>10,000個</td> <td>&lt;473千円&gt;</td> </tr> <tr> <td>餌（塩蔵ワカメ）</td> <td></td> <td>&lt;94千円&gt;</td> </tr> </table> <p>③貝毒対策 14 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻痺性貝毒モニタリング検査関係 &lt;14千円&gt;</li> </ul> <p>④船舶借上料 95千円</p> <p>藻場調査・水産教室・現地打合せ 等 &lt;95千円&gt;</p> <p>⑤その他事務費（旅費、賃金） 95 千円</p>	平戸地先	オニオコゼ (50mm)	10,000尾	< 800千円>	志々伎地先	ヒラメ (154mm)	10,300尾	<1,190千円>	田平・志々伎地先	クロアワビ (25mm)	10,000個	<1,050千円>	平戸・津吉・中津良地先	アカウニ (10mm)	60,000個	< 720千円>	クロアワビ (15mm)	10,000個	<473千円>	餌（塩蔵ワカメ）		<94千円>	4,531		
平戸地先	オニオコゼ (50mm)	10,000尾	< 800千円>																							
志々伎地先	ヒラメ (154mm)	10,300尾	<1,190千円>																							
田平・志々伎地先	クロアワビ (25mm)	10,000個	<1,050千円>																							
平戸・津吉・中津良地先	アカウニ (10mm)	60,000個	< 720千円>																							
クロアワビ (15mm)	10,000個	<473千円>																								
餌（塩蔵ワカメ）		<94千円>																								
離島輸送コスト支援事業（水産物） (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に水産物の海上輸送費の一部を助成した。</p> <p>事業期間：平成25年6月1日～平成26年3月31日</p> <p>大島村漁業協同組合</p> <p>輸送費 1,188,522円×（国1/3+市1/3）≒784千円</p> <p>平戸市漁業協同組合（度島事業所）</p> <p>輸送費 481,030円 ×（国1/3+市1/3）≒310千円</p>	1,094																								

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,407	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
	4,300		231	<p>①減少傾向にある水産資源を維持安定（持続的利用）させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への普及に寄与した。</p> <p>②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市が地元の協力を得ながらアワビの放流用種苗よりも安価な中間育成種苗の育成試験を実施し、高生存率を維持しながら放流適性サイズまで成長させるためのデータ、直接放流と中間育成放流の採算性を比較するための資料を収集することができた。</p> <p>③管内のマガキについて、麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、食中毒及び風評被害の防止ができた。</p>
547	501		46	地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することで、離島という地理的条件の不利を軽減することができた。

事業名	事業内容	事業費
漁業担い手確保推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	21 世紀の漁業担い手確保推進事業補助金 技術習得支援事業 (大島) 100,000 円×1 人× 6 月= 600 千円 (生月・志々伎) 150,000 円×3 人× 6 月=2,700 千円 (志々伎) 100,000 円×1 人×12 月=1,200 千円 保険料 等 50,000 円×1 人=50 千円 25,000 円×4 人=100 千円	4,650
産地水産業強化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	事業主体 ハード事業：大島村漁業協同組合 ソフト事業：宮ノ浦地区産地協議会 事業内容 ハード事業：大島村漁協大根坂支所の船台上架施設の改修 船体転倒防止装置付台車：1 式 軌条 1 線 巻揚機 1 台 ソフト事業：ウチワエビ販売促進事業 事業費 ハード事業：18,500 千円 (補助対象事業費) 補助金内訳：11,840 千円 国費 7,400 千円 (40%) 県費 1,850 千円 (10%) 市費 2,590 千円 (14%) ソフト事業：898 千円 補助金内訳：225 千円 (補助対象事業費) 市費 225 千円 (1/4) 附帯事務費：182 千円 (うち国庫補助 90 千円)	12,247
水産多面的機能発揮対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁業者を主体とする志々伎地区磯焼対策活動組織が、国の交付金事業を活用して取り組む藻場の保全活動に関して、「長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会」に負担金を交付した。 負担金：465 千円 [活動費1,860 千円×1/4] ※負担区分は、国1/2、県1/4、市1/4 事務費：301 千円 (うち国庫補助 300 千円)	766

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,323			2,327	漁家子弟(漁業後継者)及びIターン者が新規就業するに際し、漁業技術の習得期間中における生活費等の支援を行い、後継者の確保につなげることができた。
9,340			2,907	・ハード事業 漁船の上架施設を改修したことにより、上架時の省力化が図られたとともに、船底清掃の徹底により燃油の節減も期待できる。 ・ソフト事業 ヒラメに次ぐ重要な地域資源であるウチワエビについて、関東・関西・福岡地区を中心とする販促活動を行ったことにより、取引店舗も徐々に増えつつある。また、ウチワエビを利用した加工品についてもメーカーと開発中である。
300			466	対象地区において、漁業者を主体とする活動組織が、地先の藻場の状況に応じて磯焼け対策方法を協議し、ウニ類の駆除や定期的なモニタリング調査を実施した。今後の活動の継続によって藻類への食害圧の低減につながる事が期待される。

事業名	事業内容	事業費
水産環境保全創造事業 (建設課) 【事項別明細書 232 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>磯焼け対策として、志々伎湾の野子町地先に藻場礁を整備した。</p> <p>藻場礁整備 設置場所 平戸市野子町地先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 58,617 千円</li> <li>自然石投入 V=9,600m<sup>3</sup> 母藻ブロック 30 基</li> <li>・事務費 32 千円</li> </ul>	58,649
漁村再生交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 234 頁】	<p>白石漁港において、毎年、冬季波浪により漁業活動に支障をきたしている状況にあり、安全上の観点から改善が必要であるため、国の事業を活用し、北防波堤の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白石漁港 事業費 50,001 千円</li> <li>北防波堤（新設）1 式</li> <li>被覆ブロック製作 N=278 個 方塊製作 N=43 個</li> <li>消波ブロック製作 N=29 個</li> <li>・事務費 549 千円</li> </ul>	50,550
【事項別明細書 238 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>漁獲物陸揚げ時における衛生環境の改善を図るため、水揚げ拠点である志々伎浦漁港の荷捌き所前面物揚げ場に防暑施設の整備を実施した。また、荒天時における漁船の安全確保を目的として、福良漁港に防風フェンスの整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志々伎浦漁港 事業費 42,085 千円</li> <li>A 岸壁(改良)防暑施設 L=33.2m</li> <li>・福良漁港 事業費 8,332 千円</li> <li>福良東外防波堤 基礎工 L=50.9m・測量・設計 1 式</li> <li>・事務費 405 千円</li> </ul>	50,822

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
48,848	9,300		501	自然石及び母藻ブロックを設置するなど、磯焼け対策の整備を行った結果、沿岸域の水産資源の回復を図るための環境を構築できた。
33,750	15,100	812	888	漁船の係留、出入港、漁獲物の陸揚げ時に支障をきたしている状況が改善し港内の静穏度が向上し、漁船の安全が確保されるとともに、当漁港で行われている地域活性化に有効な漁業体験等を安全に取り組むことができるようになる。
34,031	15,100	819	872	志々伎浦漁港において、防暑施設の整備を行った結果、直射日光や風雨の影響を受けることが無くなったため漁獲物の鮮度が保持できており、水揚げ環境の改善につながった。また、福良漁港において、防風フェンスの測量設計及び基礎工事を実施したことで、防風フェンス本体の整備に向けた準備が整った。

事業名	事業内容	事業費
地域水産物供給基盤整備事業 (建設課) 【事項別明細書 234 頁】 【事項別明細書 236 頁】	生産拠点漁港である獅子漁港において、荒天時の越波により、漁船及び漁業活動に支障をきたしているため、西防波堤の改良を実施した。また、早福漁港において、漁港内に土砂が堆積し、舵が接触するなど漁業活動に支障をきたしているため港内の浚渫を行った。また、漁業体験施設として活用する旧早福分校への道路整備を実施した。 ・獅子漁港 総事業費 85,000 千円 西防波堤(改良)L=5.5(30)m うち年度内支出 43,100 千円 ・早福漁港 総事業費 80,000 千円 浚渫 L=98m(A=2,261 m <sup>2</sup> ) うち年度内支出 11,857 千円 道路 建物調査 1 式・不動産鑑定評価 1 式 用地買収 A=1653.40 m <sup>2</sup> ・建物補償 2 棟 工作物補償 1 式 ・事務費 2,564 千円	57,521
【事項別明細書 238 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・獅子漁港 事業費 30,280 千円 西防波堤(改良)L=10m 堤体工 L=10m・上部工 L=35m 消波工 L=7m ・獅子漁港 (2 工区) 事業費 50,001 千円 西防波堤 (改良) L=0(16.2)m 堤体工 L=15m・基礎工 L=16.2m ・早福漁港 事業費 678 千円 工作物調査 1 式・不動産鑑定評価 1 式 ・事務費 202 千円	81,161
漁港関連道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	生産拠点漁港である獅子漁港から主要地方道までの道路が狭隘であり、大型活魚車両等の通行の際に、地元車両や歩行者などが危険な状況となっているため、国の関連道路整備事業を活用し道路整備を実施した。 ・獅子漁港 総事業費 50,000 千円 関連道路整備 L=160m うち年度内支出 10,044 千円 土工 1 式、擁壁工一式、小型水路工 L=132m、舗装工 A=810 m <sup>2</sup> 土地購入 2 筆 A=94.33 m <sup>2</sup> 家屋補償 3 棟 ・事務費 340 千円	10,384
【事項別明細書 240 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・獅子漁港事業費 16,800 千円 測量設計一式、不動産鑑定 1 式、建物調査 3 棟、相続関係調査 1 式 ・事務費 89 千円	16,889

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,096	18,600	873	952	獅子漁港において、西防波堤の改良を行った結果、港内の静穏度が向上し、漁船の安全が確保されるとともに、漁獲物陸揚げ時の円滑化に寄与した。 また、早福漁港内の浚渫を実施したことで、舵の接触や船内で一時蓄養する際の漁獲物の死滅といった被害が無くなった。さらに、漁業体験施設として活用する旧早福分校までの道路整備に必要な諸調査及び用地買収を実施したことで、都市交流や地域間交流を促進し、当地域の活性化につなげるための道路整備を行う環境が整った。
54,646	23,800	1,304	1,411	
6,780	3,500		104	一定区間の道路整備が完了したことで活魚等水産物の流通環境の改善が図られ、大型活魚車両が通行する際に、地域住民が安心して通行できる環境が整えられた。
11,340	5,200		349	



事業名	事業内容	事業費
水産物供給基盤機能保全事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	施設整備後数十年が経過している施設について、国の補助事業を活用し老朽化対策事業を実施した。 ・機能保全工事：宝亀漁港 総事業費 70,000 千円 うち年度内支出 2,000 千円 京崎防波堤機能保全工事 L=22.7m ・事務費 189 千円	2,189
【事項別明細書 238 頁】	【平成24年度繰越明許費】 ・機能保全調査及び機能保全工事 事業費 71,053千円 機能保全調査：一六、生向、須草、泊ヶ浦、主師、白石、春日高越、飯良、西浜 機能保全工事：古田漁港 古田防波堤 L=94.6m ・事務費 179 千円	71,232
漁業集落環境整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	早福漁港において、漁業集落における生活環境の改善を行うことにより、快適な漁港環境を形成し、併せて漁業者が安心して就業できる環境を構築することを目的に集落道路の整備を実施した。 ・早福漁港：集落道 L=241 (291.3) m 集落排水路 L=84.6m 建物補償3棟 総事業費 45,000千円 うち年度内支出 18,717千円 ・事務費 18 千円	18,735
【事項別明細書 238 頁】 【事項別明細書 240 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・早福漁港：集落道 L=145.1m (149.4) m 事業費 42,485 千円 土地購入 171.39 m <sup>2</sup> 、家屋補償 4 棟、工作物補償 1 件 水道管移転補償一式、電柱移転補償 1 本、建物事前調査 11 棟 集落排水路 L=84.6m ・事務費 28 千円	42,513
漁港施設整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	<地域の元気臨時交付金事業> 冬季波浪等により漁業活動に支障をきたしているが、補助事業に該当しない漁港施設を整備した。 事業内容 ・福良漁港養浜工潜堤調査業務委託 ・高越漁港西防波堤嵩上げ工事 ・古田漁港防風フェンス整備工事 ・根獅子漁港西防波堤防風フェンス整備事業 ・古田漁港 I 護岸改良工事 ・主師漁港小主師護岸改良工事 ・獅子漁港越波対策工事 ・宝亀漁港 P 護岸単独災害復旧工事 ・福良漁港運動公園ポケットビーチ改修工事	24,999

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,000	1,100		89	防波堤の改修工事を行うことで、漁港施設の延命化が図られ、安全・安心な漁港として施設の機能が維持できる。
35,495	26,300		9,437	
12,166	6,300		269	集落内の狭隘な道路及び側溝の整備により災害時及び救急時における迅速な活動が可能となる。また、衛生車両が進入できるようになることで衛生環境が改善される。
27,615	14,100		798	
23,400			1,599	当事業を活用して整備を行った結果、これまで支障をきたしていた状況が改善し、漁船の安全係留及び荒天時における漁業者の安全が確保された。

事業名	事業内容	事業費
漁港整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】 【事項別明細書 238 頁】	<p>基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業にかかる県工事負担金</p> <p>漁港整備事業県工事負担金 50,452 千円</p> <p>《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生月漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 158,000 千円&gt; 市負担額 19,750 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 93,077 千円 市負担額 11,635 千円】</li> <li>-2m 物揚場 (改良) L=88m 浮棧橋 1 式</li> <li>用地 (改良) L=1,100m</li> </ul> </li> <li>・薄香湾漁港 A=4,994 m<sup>2</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 125,000 千円&gt; 市負担額 15,625 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 49,024 千円 市負担額 6,128 千円】</li> <li>潮の浦護岸 (改良) L=27m、潮の浦東防波堤 (改良) L=80m</li> <li>道路 1 式、浮棧橋 1 式、曲り護岸 (改良) 1 式</li> <li>《県北北部地区漁村再生交付金》</li> </ul> </li> <li>・前津吉漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 39,111 千円&gt; 市負担額 4,889 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 35,074 千円 市負担額 4,384 千円】</li> <li>道路 94.8m、内防波堤 (改良) L=20.1m、護岸 (改良) L=15.8m</li> </ul> </li> <li>・館浦漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 242,172 千円&gt; 市負担額 30,271 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 219,522 千円 市負担額 27,440 千円】</li> <li>浮棧橋 1 基</li> </ul> </li> <li>・田助漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 20,000 千円&gt; 市負担額 2,500 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】</li> <li>-3m 航路 A=1,100 m<sup>2</sup> V=1,100 m<sup>3</sup></li> </ul> </li> <li>・前津吉、館浦、田助漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 7,718 千円&gt; 市負担額 965 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】</li> <li>ハザードマップ作成 3 漁港</li> </ul> </li> </ul> <p>《県単独修築事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薄香湾漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 1,818 千円&gt; 市負担額 455 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 1,818 千円 市負担額 455 千円】</li> <li>浮棧橋 1 式</li> </ul> </li> <li>・生月漁港 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 5,857 千円&gt; 市負担額 410 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 5,857 千円 市負担額 410 千円】</li> </ul> </li> <li>・海岸開口部対策 1 式</li> </ul>	50,452

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	44,800	2,499	3,153	<p>県営漁港の整備を行うことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能の向上が期待できる。</p> <p>また、県の単独事業を実施したことにより、施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善が期待できる。</p>

事業名	事業内容	事業費
漁港整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 238 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】 《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生月漁港 事業費 110,755 千円 市負担額 13,845 千円 -2m物揚場 L=88m、内防波堤 (A) L=30m</li> <li>・薄香湾漁港 事業費 3,978 千円 市負担額 497 千円 潮の浦護岸改良 1 式</li> <li>・宮ノ浦漁港 事業費 86,038 千円 市負担額 10,755 千円 浮棧橋 1 基 《地域自主戦略交付金》</li> <li>・前津吉漁港 事業費 16,052 千円 市負担額 2,007 千円 道路 1 式、護岸 (改良) 1 式、内防波堤 (改良) 1 式 《農山漁村交付金》</li> <li>・館浦漁港 事業費 31,591 千円 市負担額 3,949 千円 浮棧橋一式</li> <li>・度島漁港 事業費 5,000 千円 市負担額 625 千円 船揚場 (滑り材) L=15m</li> </ul>	31,677
漁港施設機能強化事業 (建設課) 【事項別明細書 238 頁】	<p>防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下中野漁港 総事業費 80,000 千円 北防波堤 (改良) L=0 (30.23) m うち年度内支出14,900 千円</li> <li>・志々伎浦漁港 総事業費 100,000 千円 西防波堤 (新設) L=0 (30) m うち年度内支出18,800 千円</li> <li>・事務費 454 千円</li> </ul>	34,154
【事項別明細書 240 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下中野漁港 事業費 55,902 千円 北防波堤 (改良) L=20.1 (30.21)m、基礎工 N=1.0 式 堤体工 L=15.17m、上部工 L=20.1 (30.21)m</li> <li>・志々伎浦漁港 事業費 14,054 千円 測量設計一式、地質調査 5箇所</li> <li>・事務費 111 千円</li> </ul>	70,067

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	28,000	1,584	2,093	<p>県営漁港の整備を行うことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能の向上が期待できる。</p> <p>また、県の単独事業を実施したことにより、施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善が期待できる。</p>
22,747	10,200	547	660	<p>漁港施設への被災や、防波堤からの越波による漁船への被災が回避されるなど、漁港機能が充実し、当漁港を安心して利用できる環境が整えられる。</p>
47,182	20,600	1,135	1,150	